

全体	No.46
個別	009-01

平成26年度 [水道局 (部)] 目標の成果

課 名	水 道 課
-----	-------

No.	項 目	水道料金収納率の向上																								
	1. 組 織 目 標																									
	<p>【 内 容 】 水道料金の収納率向上に努めます。</p> <p>【 指 標 】 収納率（現年分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対馬市水道事業 96.3% (前年度目標 96.2%) ・ 対馬市簡易水道事業 98.4% (前年度目標 98.3%) 																									
	2. 実 績 (成 果)																									
	<p>収納率</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 20%;">前年度</th> <th style="width: 20%;">対前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ 対馬市水道事業</td> <td>現年分</td> <td>95.61%</td> <td>(95.87%) (△0.26%)</td> </tr> <tr> <td>過年分</td> <td>62.05%</td> <td>(52.69%) (9.36%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>93.80%</td> <td>(93.57%) (0.23%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 対馬市簡易水道事業</td> <td>現年分</td> <td>98.27%</td> <td>(97.98%) (0.29%)</td> </tr> <tr> <td>過年分</td> <td>31.64%</td> <td>(19.48%) (12.16%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>94.95%</td> <td>(93.86%) (1.09%)</td> </tr> </tbody> </table>			前年度	対前年比	・ 対馬市水道事業	現年分	95.61%	(95.87%) (△0.26%)	過年分	62.05%	(52.69%) (9.36%)	計	93.80%	(93.57%) (0.23%)	・ 対馬市簡易水道事業	現年分	98.27%	(97.98%) (0.29%)	過年分	31.64%	(19.48%) (12.16%)	計	94.95%	(93.86%) (1.09%)	
		前年度	対前年比																							
・ 対馬市水道事業	現年分	95.61%	(95.87%) (△0.26%)																							
	過年分	62.05%	(52.69%) (9.36%)																							
	計	93.80%	(93.57%) (0.23%)																							
・ 対馬市簡易水道事業	現年分	98.27%	(97.98%) (0.29%)																							
	過年分	31.64%	(19.48%) (12.16%)																							
	計	94.95%	(93.86%) (1.09%)																							
	3. 評 価 △																									
	<p>滞納者に対し、督促及び催告書を発送し、また給水停止等の措置を講じましたが、水道事業については率にして0.69%目標に達することが出来ませんでした。また、簡易水道事業については、前年度より収納率はアップしたものの率にして0.13%目標に達することが出来ませんでした。</p> <p>納付催告、給水停止等を実施することにより、分納や完納がありましたが、その後新たな滞納が発生するといった状況で、目標数値には届きませんでした。</p>																									
	4. 今 後 の 展 開																									
	<p>過去の寒波災害の教訓を生かし、安定した水の供給を図りつつ、水道料金の収納率の向上に向け、滞納者に対し、給水停止の措置を強化し（3ヶ月以上の悪質滞納者を対象）、滞納＝給水停止という意識づけに努めます。</p>																									